

「これからの観光を盛り 上げる若いチカラ」

市 の観光業のあり方を官民一体となって考えるために、令和6年6月に会長に就任された五所川原市観光協会の木村重介会長に、お話を伺いました。

▷五所川原市観光協会における現状の取組と認識について

会長…観光協会は、五所川原駅前で観光案内所を運営し、一方で五所川原立佞武多の運営の一端を担い、祭りの時期は忙しくしていますが、観光案内は、今はGoogleマップを見れば情報が出てきます。駅前に事務所を置く必要はなく、このままでは観光協会が必要とされなくなることを危惧しています。五所川原はもちろん、もっと金木、市浦の観光情報を発信するための取組が必要と考えます。

▷今の市の観光に足りないものは何だと考えるか

会長…街なかで、キャッシュレス決済やWi-Fiなど、受入れ体制が出来ていません。しかし、それ以前に、市にいらした観光客に対して、市民が「五所川原には何もない」と言ってしまう、その意識こそが問題だと考えています。市民が観光コンテンツを紹介できるように発信できればと思います。

▷現状の課題について

会長…観光協会における自主事業の部分がほぼ出ていないことが課題です。

▷今後、どうしていきたいか

会長…商工会議所や飲食店組合、観光協会とで連絡協議会を立ち上げ指定管理を行っている「立佞武多の館」を生かしながら、若い人の力を借りて自主事業を検討していきたいと考えています。また、当市だけでは売り込みが厳しいので、西北・中南津軽地域14市町村の観光地域づくり法人Clan PEONY津軽ともさらに連携を図っていききたいと思います。

▷最後に、意気込みをお願いします

会長…観光協会の今の体制を変えたいと考えています。変えることに賛否両論はありますが、今、協会にはたくさんの若い人が加入してきているので、座談会などを開いて意見を吸い上げれば、もっと面白いことができるのではないかと考えています。観光協会を存続していくために、できることをやっていきたいです。



木村 重介（きむら じゅうすけ）58歳
令和6年6月五所川原市観光協会会長就任

●五所川原市観光協会が担う役割の重要性

コロナ禍が明け、観光振興を通じた地域活性化に対する期待感が高まっており、市や観光協会が担う役割は大きいと考えます。

しかし、「現在の観光協会の体制は、せい弱であると言わざるを得ない。観光協会の組織体制強化を図る上で、市における観光の位置づけや観光協会のあり方について、五所川原・金木・市浦各地域の関係者間で十分に検討したうえで、**運営・経営体制を強化していくことが重要**」と、木村会長は言います。

十三の砂山まつり



相肉虫送り



仁太坊まつり



脇元お山参詣



虫と火まつり



未来に繋ぎたい地域のまつり



金木さなぶり



五所川原立佞武多



浅井獅子舞



金木桜まつり



夏は祭りがめじろ押し！ みんなで行くべし！！

☆五所川原立佞武多

8月4日(日)～8日(木)
19:00～21:00

詳細は
コチラ



☆仁太坊まつり

9月1日(日)
18:00～20:00

詳細は
コチラ



☆十三湖高原まつり

8月25日(日)
9:00～15:00

詳細は
コチラ



目指すのは総合的な観光プロモーション

すべてのエリアを個別の集客拠点として位置づけるのではなく、各エリアで生産される食材(水産物、農産物など)、観光情報等を共有してエリア間の結びつきを強め、五所川原市が一体となった観光振興を実現していきます。



●将来の五所川原市の観光のあり方とは？

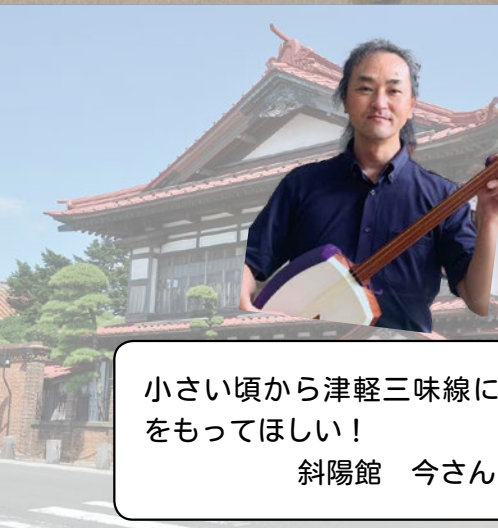
「訪れてよかった」「また来てみたい」と思えるような、五所川原市の魅力発信の強化を図っていききたいと思います。

そのためにも「五所川原市を訪れたことがない人への情報発信力の不足や、交通・駐車場の問題、観光基盤の改善・観光地としての演出不足、インバウンド対策不足、おもてなし意識の希薄、商品開発力の不足などが市の観光振興における課題であり、ハード・ソフト両面における総合的な取組が、官民連携で必要になります。」と木村会長は力強く訴えます。

市浦の豊富な資源・魅力をたくさんの人に知って欲しい！
トーサム 八木澤さん



小さい頃から津軽三味線に触れて誇りをもってほしい！
斜陽館 今さん



子どもたちが参加しやすい祭りにしたい！
立佞武多の館 石川さん



●みんなが担う、みんなが育てる観光のまち、五所川原

観光は、観光事業に携わる人や行政だけで推進するものではありません。五所川原市民一人ひとりが、五所川原の魅力創出に向けた実践をすることで、五所川原のまち全体が一層輝きを増します。誇りと愛着を持てる魅力あるまちに育てる観光まちづくりをみんなで目指しましょう。

問い合わせ先…商工観光課 内線2579